学校だより　11月号
相模原市立二本松小学校
２０２４．１０．３１

にほんまつ

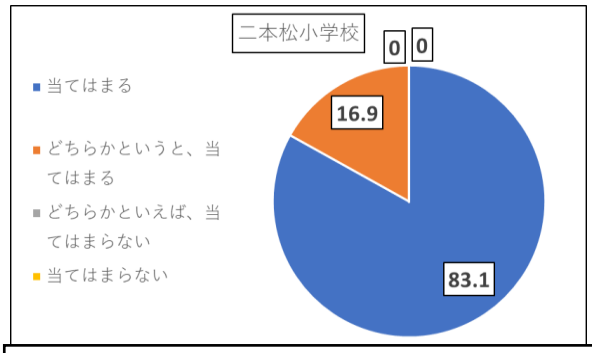
「かしこさ」
「やさしさ」
「たくましさ」

松っ子ブログ

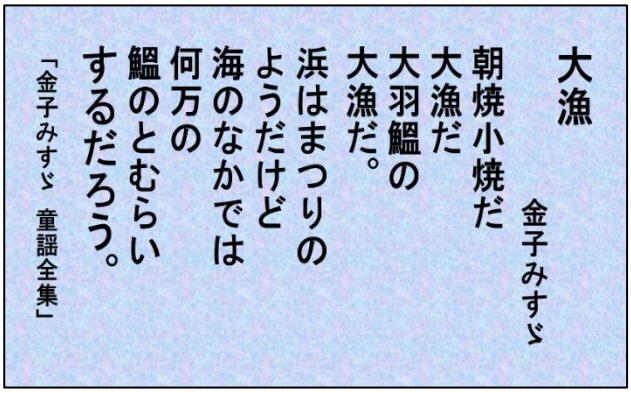
見えない「相手の気持ち」を想像する

校長　松浦　隆志

年度初めに行われた「全国学力・学習状況調査」の結果で、とてもうれしいことがありました。それは児童質問紙の「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」という問いに対し、全員が、「当てはまる」「どちらかというと、当てはまる」と回答していたことです。これまで、保護者の皆様のご協力を得ながら、積み重ねてきたことが、形になって表れたようで大変うれしく思いました。



全国学力・学習状況調査児童質問紙　「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の回答


大漁

朝焼小焼だ
大漁だ
大羽鰮の
大漁だ。

浜はまつりの
ようだけど
海のなかでは
何万の
鰮のとむらい
するだろう。

金子みすゞ

「金子みすゞ　童謡全集」

話は変わりますが、金子みすゞさんの「大漁」という詩をご存じでしょうか。最近テレビのCMなどでも取り上げられているので、聞いたことがある方も多いと思います。

「浜はまつり（祭り）」。「海のなかはとむらい（弔い）」。金子みすゞさんは、この二つを対比させることで、「大漁の喜び」の裏に「イワシの悲しみ」があることに気づかせてくれます。

「いじめ」がいけないことだと頭ではわかっていても、知らず知らずのうちに「いじめ」をしてしまうことがあります。なぜなら、何気なく言ったりしたりしたことでも、された側の心や身体が傷つけば、それはすべて「いじめ」だからです。そうした「無意識のいじめ」を防ぐためには、目では見えない「相手の気持ち」を想像することが大切です。まずは私たち大人が率先して「見えない相手の気持ち」を想像する努力をしていく必要があると考えています。これからも日常の様々な機会を通して、子どもたちに「おもいやり」の心を育んでいきたいと思います。

４月にも連絡をしましたが、学校の電話対応時間は、８：００～１７：３０　となっています。ご協力よろしくお願いします。